



挑戦で拓く、
新しい日本

自民党、再起動

小林鷹之

た
か
ゆ
き

50歳

昨年、初めて総裁選に挑戦してから1年が経ちました。

この間、全国各地に足を運び、特に現役世代の皆さんからお話を伺う中で、悲鳴ともいえる怒りの声が、自民党に対する声が、日に日に大きくなっていくのを肌で感じてきました。

崖っぷちの自民党。このままでは本当に無くなってしまふ。それだけの危機感を持って、この度総裁選に挑戦します。ニッポンの力は、こんなもんじゃない！

その確信をもって、自民党を再起動させます。若い世代がもっと前面に出て、自民党を、そして日本を動かしていく。

自分たちが変えるという気概なくして、党も日本も変わらない。その先頭に私が立つ決意です。

皆様のご支持ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年9月

小林鷹之

「ニッポンの力は こんなもんじゃない!」

小林鷹之が描く 3つの未来像

1. 力強く成長するニッポン

厳しい環境におかれた中間層・現役世代・若者への対策を最重要視。「頑張れば報われる」という確信を、次なる成長と社会の安定につなげる好循環を作り上げ、全世代にとってより良い社会へ。

▶未来への投資：挑戦するニッポン～成長による富の創出

- ・国による企業や研究者に対する大胆な投資でテクノロジー大国を実現

▶大きな「伸びしろ」を抱える地方への思い切った投資

- ・国・自治体・産業・アカデミア連携による戦略分野投資と雇用創出

▶中間層・現役世代向けの新たな所得税制

- ・定率減税（時限的措置）先行実施、続いて、控除や税率構造を含む所得税制の抜本見直し（恒久的措置）

▶ガソリン暫定税率廃止

▶現役世代の社会保険料負担軽減

- ・健康増進と無駄削減を図り、国民の安心を守りながら包括的改革

▶デフレから成長経済への移行期対策

- ・公共調達等への物価高反映／医療等公定価格分野賃上げ／重点支援交付金倍増

2. 自らの手で守り抜くニッポン

▶「新たな戦い方」への対応等国家安全戦略の早期改定／防衛費の引き上げ

▶経済安全保障、食料・エネルギー・医療の安全保障

▶主導する外交の展開：世界から必要とされ、毅然とふるまえるニッポン

- ・日米同盟基軸としつつ自律性向上／日米関税交渉の履行体制の確保／対ASEAN・グローバルサウス（第三の経済圏を日本主導で構築）／拉致被害者全員の即時帰国の実現

3. 結束するニッポン

▶外国人政策：外資による土地買収の規制強化、厳格な入国審査、JESTA早期整備など

▶外国勢力による情報干渉対策：刑事罰や登録制度を盛り込む「外国干渉防止法」を創設

▶日本の歴史・伝統・文化：ふるさと・文化財・伝統産業の持続的発展／インバウンド対策強化

▶少子化対策・こども政策：子育て世帯の雇用安定と手取り増／豊かな学びと育ちの保障

4. 憲法改正

- ▶ 任期中の憲法改正案発議を目指す。緊急事態条項と自衛隊明記を優先。

5. 党改革

- ▶ 「政治は国民のもの」という立党の原点に立ち返る。国民に直接語りかけ、耳を傾ける。車座対話の常設化、オンラインタウンミーティング

- ▶ 自民党の基本的考え方・機軸の明確化。その上で、野党と真摯に向き合い、連携・連立を模索。政局のための対立ではなく、「国のための合意を重ねる政治」へ。

- ▶ オープンでスピード感ある意思決定。民間並みの党組織改革（財務・監査・開示、コンプライアンス、党員、人事、広報・選挙戦略等）。

- ▶ リーダーの「世代交代」政権運営はベテランから若手まで適材適所のチームで。

ONE自民
自民党、再起動

小林鷹之
SNS



X (Twitter)



YouTubeチャンネル



Instagram

小林鷹之 / PROFILE

1999年東大法学部卒業後、財務省入省。03年ハーバード大学院修了。在米日本国大使館書記官を経て、12年第46回衆議院議員総選挙で初当選（現在5期）。防衛大臣政務官、経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣（科学技術・宇宙）。現在、衆議院財務金融委員会筆頭理事、党知的財産戦略調査会長、経済安全保障推進本部長等を務める。2024年には総裁選に初出馬。

